

SAMPLE

[教師用指導書 学習内容ページ]

児童書の「学習の振り返り」に対応するページでは、児童が自らの伸びや課題に気づいて次時のめあてを考えたり、学習への意欲を高めたりできるような、児童への書き込み（赤ペン）例を具体的に提示しています。

がくしゅうの ふりかえり

みずぎに きがえる。

みずぎを 脱ぎかえり、きかえよう。

プールにはいる まえの やくそく

プールにはいる まえの やくそく

プールで あそぼう!

プールの やくそく

プールの あと の やくそく

あての ひどが いることを たしめよう。

あての ひどが いることを たしめよう。

あての ひどが いることを たしめよう。

◆児童へのアドバイス例

○振り返りカードの記入例

- ・「がんばったこと」……学習の中で取り組んだ遊びの中からがんばったことを書く。どのようにがんばったのかも書けるとよい。
- ・「つぎにためてみたいこと」……次の学習で取り組んでみたいこと、チャレンジしてみたいことを書く。今日取り組んだ内容と同じでもよい。
- ・「かんそう」……思ったこと感じたこと何でもよいので自由に書く。
- ・「せんせい・ともだちから」……先生や友達から自分のことについて書いてもらう。
- ・「自己評価」……とてもよくできた○、よくできた□、あまりできなかった△のように記号を決めて書く。シールを使うと児童の興味・関心や意欲が高まる。

○書き込みの例

- ・「かおがみずにつけられるようになったね。」（初めてできるようになったことや前回よりできるようになったことを褒める。）
- ・「はなしをしずかにきちんときいているね。」（約束が守られていることを褒める。全体への意識付けにもなる。）
- ・「つぎは、けのびで8mすすんでみよう」（もう少しがんばればできるようになることや、より上手になるポイントを示す。）

◆評価のポイント

【技能】

- ・水につかたり移動したり、水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりすることができたか。

【態度】

- ・順番を守ったり、準備や後片付けをしたりして、友達と仲よく水遊びができたか。
- ・プールのきまりを守って安全に水遊びができたか。

【思考・判断】

- ・競争の仕方やいろいろな水遊びの行い方を工夫したり、友達のよい動きを見つげたりして水遊びができたか。

【副読本の活用】

○オリエンテーションでの活用

「水遊び」の学習をする際、プールの約束について絵を見せながら確認、徹底させていく。特に、水着の着替えや片付けの仕方については、清潔で安全な水泳学習を行う上での基になるので、丁寧に指導し、確実に身に付けさせていく。また、「プールであそぼう」の絵を見ながら、これからどのようなことを学習するのかについて話し、学習の見通しをもたせるとともに児童の興味・関心を高める。

○振り返りでの活用

めあてをもたせて取り組ませることやその振り返りをすることは、主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせていく上で、大切なことである。書き込み欄の項目を参考に、毎時間分の学習カードを作成し、自己評価をしていく。